

「第18回 鎌足ふるさとたずね歩き」を開催しました!



鎌足桜の咲く時期に鎌足地区内を歩いて巡ることにより、鎌足地区に息づく伝説や歴史を改めて発見するため、「鎌足ふるさとたずね歩き」を開催しました。

実施にあたっては人数制限を行ったほか、当日の健康観察や水分補給時以外のマスク着用の徹底など、十分な新型コロナウイルス感染予防対策を取りました。

今年は気候が暖かく、鎌足桜の時期とはずれてしまいましたが、当日は天候にも恵まれ、和やかな雰囲気ですることができました。栖安寺や間暗寺を巡り、藤原鎌足の歴史だけではなく、里見氏の歴史の一端にも触れることができました。

イベントの開催状況

開催日時；令和3年4月24日（土） 9時00分～12時30分

見学先；栖安寺・音羽神社・地蔵菩薩・文殊堂・間暗寺・庚申塔・蓮華寺跡

主催；鎌足ふるさとかるた会・鎌足公民館

鎌足桜とは

大化の改新の後、内大臣に出世した藤原鎌足が高倉観音へのお礼参拝のために鎌足を訪れた時、持っていた桜の木の杖を傍らの土手に挿して旅装束に着替えたといわれています。桜の木の杖はそのまま根付き、土地の人々は鎌足公に因んで「鎌足桜」と呼ぶようになったとのこと。

